

# 令和元年度 煤煙、ダイオキシン類測定報告書

測定日時	第1回目	令和元年 12月 10日	1号炉	ダイオキシン類、混合焼却灰、作業環境測定
			2号炉	煤煙及び水銀測定
	第2回目	令和元年 12月 11日	2号炉	ダイオキシン類測定
			1号炉	煤煙及び水銀測定
		令和2年 2月 6日	1号炉	煤煙及び水銀測定
		17日	2号炉	煤煙及び水銀測定

## ダイオキシン類濃度

(単位:ng-TEQ/m<sup>3</sup>N)

測定箇所		前 回 値	測 定 値	規 制 値	適・否
排 ガ ス 中	1 号 炉	0.44	0.32	10.0	適 合
	2 号 炉	1.10	0.17	10.0	適 合
混合灰	共 通	0.30	0.0025	3.0	適 合

## 混合焼却灰の含有量試験結果

単位:mg・kg

計量の対象	平成29年9月28日	平成30年9月26日	令和元年12月10日	備 考
鉛	400	340	440	ICP発光分光分析法
カドミウム	11	10	7	ICP発光分光分析法
全クロム	270	160	61	ICP発光分光分析法
ひ素	4.0	6.0	3.0	水素化物発生原子吸光法
全水銀	0.15	0.44	0.50	還元気化原子吸光法

\* 三重中央開発にて処理を依頼する場合に、提出が必要。

# ばい煙測定結果

- ばいじん濃度の測定結果(酸素濃度12%乾きガス換算値)

(単位:  $\text{g}/\text{m}^3_{\text{N}}$ )

測定日			基準値	測定値	適・否
第1回	令和元年 12月 10日	1号炉	0.15以下	0.005	適合
	令和元年 12月 11日	2号炉		0.004	適合
第2回	令和 2年 2月 6日	1号炉		0.004	適合
	令和 2年 2月 17日	2号炉		0.004	適合

- 硫黄酸化物濃度の測定結果(酸素12%乾きガス換算値)

(単位:  $\text{m}^3/\text{h}$ )

測定日			基準値	排出K値	排出量	適・否
第1回	令和元年 12月 10日	1号炉	19.06	17.50	0.034	適合
	令和元年 12月 11日	2号炉			0.096	適合
第2回	令和 2年 2月 6日	1号炉			0.120	適合
	令和 2年 2月 17日	2号炉			0.037	適合

基準値 【地域別係数 (K値) × (補正後の煙突の高さ)<sup>2</sup> ÷ 1000】

17.5 × 33.0<sup>2</sup> ÷ 1000 = 17.92 \* 補正後の煙突高さを33mに設定した \*

- 窒素酸化物の排出規制基準(酸素12%乾きガス換算値)

(単位: ppm)

測定日			基準値	測定値	適・否
第1回	令和元年 12月 10日	1号炉	なし	26	適合
	令和元年 12月 11日	2号炉		32	適合
第2回	令和 2年 2月 6日	1号炉		22	適合
	令和 2年 2月 17日	2号炉		27	適合

施設の種類	排ガス量	設置時期	排出基準
その他の炉 (機械化バッチ炉)	4万( $\text{m}^3/\text{時}$ )以上	1977年6月17日以降に着工	250
	4万( $\text{m}^3/\text{時}$ )以下	基準値 無	—

\* 美化センターの1時間当たりの排ガス量は、 $22,400\text{m}^3_{\text{N}}$ で基準値なし

- 塩化水素の排出規制基準

(単位:  $\text{mg}/\text{m}^3_{\text{N}}$ )

測定日			基準値	測定値	適・否
第1回	令和元年 12月 10日	1号炉	700 $\text{mg}/\text{m}^3_{\text{N}}$ 以下	14	適合
	令和元年 12月 11日	2号炉		280	適合
第2回	令和 2年 2月 6日	1号炉		12	適合
	令和 2年 2月 17日	2号炉		1.2	適合

- 全水銀濃度の測定結果

(単位:  $\mu\text{g}/\text{m}^3_{\text{N}}$ )

測定日			基準値	測定値	適・否
第1回	令和元年 12月 10日	1号炉	50 $\mu\text{g}/\text{m}^3_{\text{N}}$ 以下	4	適合
	令和元年 12月 11日	2号炉		3	適合
第2回	令和 2年 2月 6日	1号炉		98	不適合
	令和 2年 2月 17日	2号炉		6	適合